

第1回 比較福祉国家研究会

日時：7月21日（土）14時-18時

場所：一橋大学経済研究所3階大会議室

趣旨：本研究の目的は、社会福祉の歴史と現在に光をあてながら、政治・社会・経済システムの底に潜む普遍的な問題を探り当てることを意図しています。多様性のもとでの国民国家統合という共通の課題のもと、「機会の平等の実質化」を模索するアメリカ合衆国、「多文化主義」を粘り強く進めるカナダにおいて、社会福祉（移民政策・教育等を幅広く含む）はどのような役割を任せられたのか、また、果たしていったのか。

本研究は、学際的かつ専門的な視点から切り込むことをねらいとして、各分野の先端（尖端）的な方々に執筆をお願いしました。本日、お集まりいただく趣旨は相互の対話を通じて、各部各章の特徴をより明確にすること、異なるベクトルを保持しつつも、全体としてほのかに浮かび上がってくるものがあるとしたら、それを探ることにあります。

プログラム

旬報社『新版 世界の社会福祉』（全12巻） 『第6巻 アメリカ／カナダ』

（2018年10月末締切、2019年5月刊行）

本シリーズのねらいと本巻のねらい 後藤玲子/新川敏光（10分）

各執筆者の報告10分+質疑5分（以下は仮目次より：報告順序は不同）

第I部「アメリカ合衆国」

アメリカン・デモクラシーと福祉

後藤玲子（経済哲学：一橋大学）

アメリカ厚生資本主義の守備範囲

後藤隆（社会学・社会調査：日本社会事業大学）

アメリカのソーシャルワークとその担い手たち

渋沢田鶴子（社会福祉学：New York University）

移民と多文化主義の歴史と現在

佐藤千登勢（歴史学：筑波大学）

障害をもつアメリカ人政策の歴史と現在

横藤田誠（法学：広島大学）

アメリカの教育と福祉：人種・貧困など

倉石一郎（教育学：京都大学）

アメリカの戦争と貧困と福祉

小滝陽（歴史学：一橋大学）

アメリカの高齢者：年金・医療・介護

斉藤拓（政治科学、立命館大学）

アメリカにおける排除と抵抗の郊外

森千香子（国際社会学：一橋大学）

第Ⅱ部 カナダ

カナダの歴史と現代的課題

細川道久（鹿児島大学）

カナダの間文化主義について

荒木隆人（岐阜県立女子短期大学）

財政からみたカナダの社会保障・福祉

池上岳彦（立教大学）

医療保障

岩崎利彦（元・皇學館大学）

障害者福祉

中川 純（東京経済大学）

多文化主義・移民政策

新川敏光（法政大学）

全体討論・質疑（10分）